

# 女の新聞

クロワッサン  
10日・25日の  
月2回発行

## 介護

226

### 自然と人が共生するコミュニティで私らしく。働き、学び、遊び、看取りまでを支え合おう。

#### 近山恵子さん

ちかやま、いこい 社団法人コミュニティネットワーク協議会理事、那須00年コミュニティ地域プロジェクトリーダー

人生90年代を生きた私たちにとって、「おつとめ」としての仕事や家族から卒業し、後の約30年間をどうで、

「おひとりさま」がファミリーだ。ろろが、人と人が助け合い、知恵と力を分かち合って暮らす大切に注目し、これまでに多世代共生の共同住宅「かかん森」(東京都荒川区)や住人参

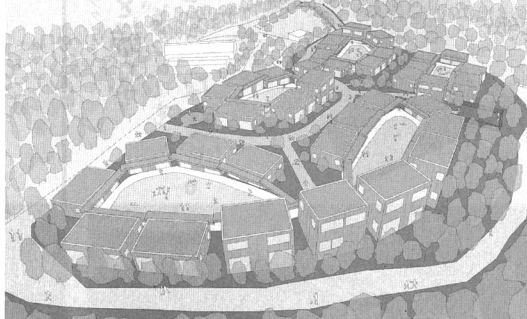
加型の福祉マンション『友だち村』(静岡県伊豆市)を手がけてきた近山恵子さんが現在、取り組むのは、「那須100年コミュニティ」というプロジェクトだ。

日本を代表するリゾート地である栃木県那須町約10万坪の計画地に、まず自立型介護型、合わせて70戸のシニア向け共同住宅と小規模多機能型介

護施設を建てる。その周辺には菜園やアトリエ付き戸建て住宅、さらに酪農や温泉エリアなどを点在させ、多世代の人がそれぞれ目的やニーズに沿って住み、必要になれば支え合える関係を醸成させていく計画だ。

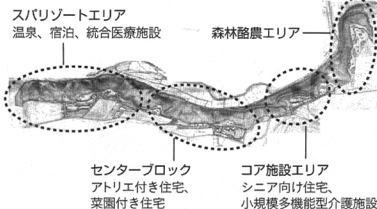
「元気なちは自由働き、遊び、学び、介護が必要になったら支え合い、なじみの場、関係の中で看取り合う。死は日常から隠すような特別な出来事じゃなく、それまでの暮らしの先にあるもの。死まで共有しあえてこそコミュニティだ」と思います。

「内外の医療・看護・介護サービスと、住人同士のさまざまな見守りがあれば、認知症になっても寝たきりになっても、最期まで自宅で暮らせるでしょう」



雑木林の環境を最大限、生かしたコア施設エリア。70戸の高齢者専用賃貸住宅は平屋または2階建てで約10~25坪(バス、トイレ、キッチン、収納ほか)。中庭は菜園やハーブ園を計画。

#### 那須プロジェクトの全体イメージ



4つのエリアは多世代が「働く・学ぶ・育つ」場。次回の懇談会は4月26日(日)午後1時30分~、ワークコミュニティネットワーク協会(東京都中央区銀座4・14・11 3F)にて、無料。申し込み ☎03-3547-3882 「那須で100年コミュニティをつくる会」宛 <http://www.minakoi.jp/>

センターブロック アトリエ付き住宅、菜園付き住宅  
コア施設エリア シニア向け住宅、小規模多機能型介護施設

死は日常から隠すような特別な出来事じゃなく、それまでの暮らしの先にあるもの。死まで共有しあえてこそコミュニティだ」と思います。

「約10坪の部屋で同居一時金(終身利用権)が1000万円強(坪110万円程度)。月々の費用を約12万円(家賃、管理費、1日3食の食費、介護費など)と想定(09年3月現在)。おひとりさまが老後に用意する貯蓄と年金でまかなえる額を基準にしました」



人づきあいが苦手でも大丈夫か? という問い合わせも。「一人でもみんなでも、を保障することが大切。ずっと自宅一人でいるつもりだけど窓からなじみの声が聞こえるから安心、という理由で踏み出す人も」

最初に1000万円+αと、月々12万円。おひとりさまが老後に備える貯蓄と年金でまかなえるギリギリの額を基準にしました。